

山王3・4丁目自治会『防災協力隊』新入隊員へのヒアリングのレポート

2008年10月19日、防災協力隊の進入隊員にお集まりいただきヒアリングを行った。

目的は今後の隊員のリクルートや勧誘強化や活動のPR作戦のため。

部外者感覚の目線から新鮮な意見が活発に飛び交い今後のアイデア作りに非常に有益な会だったので隊員の皆さんにも回覧します。

参加隊員：I 隊員、O 隊員、K 隊員、k 隊員、Y 隊員、鈴木英明、秋山崇一、小久保和代
(文責：秋山崇一)

秋山：本日は、3000人規模の自治会の有事の備え、防災協力隊の50人のメンバーを100人200人に増やすため、まだ外部の目線をもっている新入隊員の皆さんの意見をうかがいたい。

入隊動機は？

I 隊員：取引先の方が山王在住で鈴木雄二さんを紹介された。山王公園の隣に住み、毎年お祭りがうるさく最初は好意的ではなかった。また、いつ転勤か分からない身ゆえ地域の活動に消極的だった。山王マート（クリーニングのおばちゃん）からも聞かされ隊を知った。決め手は、山王サンバ！

O 隊員：大阪から単身赴任。公園の向かいに住んでいて「こどもまつり」を覗いたら、浦勇さんに勧誘された。実はα米製造メーカー。ここのはうちのα米じゃなかった・・・。

K 隊員：子供がいるので地域のコミュニケーション深めたかった。

Y 隊員：地域の方との交流はしたかった。家内に「こどもまつり」を知らされ行ってみた。大変よくしていただき、子供と焼きそばを食べているタイミングで浦勇氏に勧誘され断れないと思った（笑）。

k 隊員：地域への貢献と、良好な近所づきあいのため。出来る範囲の参加でよいといわれた。

防災協力隊と自治会の関係のアピールが必要

I 隊員：転入組の私は、結構掲示板は見る。区報や駅配布のチラシ類も地縁が無いから住む街の情報がほしい。

Y 隊員：最近越してきた。子供がいても早く地域になじみたい。自治会だよりは毎回全部読む。入隊してから自治会HPを見に行った。英明さんのHPも見たが、最初からそこに遷移するのは難しい。掲示板は有効では。

O 隊員：自よくある治会、町会は、イメージできる。ここの自治会はユニーク。消防、防災の繋がりは分からない。前もってアピールが必要。

K 隊員：「こどもまつり」では、自治会の運営ともっとアピールしないと分からない。

Y 隊員：本職の消防もいるし、全員プロに見えてハードルが高い。イメージが重い。

負担が初めはわからない。週末 1,2 時間なら作れる。

k 隊員：身近な人が隊員にいれば入りやすいし、知り合いから情報が安心。

鈴木：東京はご近所づきあいしたくない人もいる。ほっとして知り合いと過ごせる人が集まればいい。

制服は、意外に子供たちに人気！

O 隊員：制服の支給がちょっと心待ち。カッコいい。飲み会も。いろいろインパクトがある。

Y 隊員：うちも子供に着て見せると喜ぶ。父の威厳が出る。

I 隊員：ああいう制服は、素朴に子供たちの憧れの対象だと思う。家族もいないが、(制服やこの活動のおかげで) 子供と話す機会も出来た。

K 隊員：うちも子供たちが喜ぶ。

秋山：近頃、制服で歩いていると子供から「防災の人だ！」と声がかかる (いい意味で)

k 隊員：(制服ゆえに) 運営のハードルも感じるのも事実。

奥さんやご家族の理解は？

k 隊員：地域活動への参加は理解がある。概ね賛成。共働きなので土日の家事負担への支障ある活動は (こどもまつりの準備) ハードルが高い。仕事との両立にも不安はある。

K 隊員：我が家も共働き。土日活動に最初はやや否定的。地域に家族を認識してもらうことが最大の災害への備えと主張しつつ、最近協力的になった。

Y 隊員：好感は持たれている。評価は高い。

O 隊員：家族は知らない。(大阪から単身赴任だから)

I 隊員：親兄弟とは同居していないが、悪く思っていない。18 年一人暮らしでいろんなところに住んだが、こんな自治会は始めて。

防災協力隊の活動は

K 隊員：子供を育てるのに山王は憧れていた。

I 隊員：ここはいい生活圏。良識、レベルもいい。子供を中心に、は普通の思考回路。

O 隊員：住みやすい街にしてゆこうは理解されやすい街。アピールはもっと行うべき。

Y 隊員：目指すべき方向によって、様々な選択肢があるのでは。どんな自治会にしたいか。自前で消火活動が出来るとか、顔見知りになりやすい、とか。

I 隊員：方向性がしっかりしている。地方の都市部より活動は活発。勧誘や活動のアピールは機会や場をもっと増やしてもいいのでは。

k 隊員：活動内容をまだ理解していないので今後意見してゆきたい。